

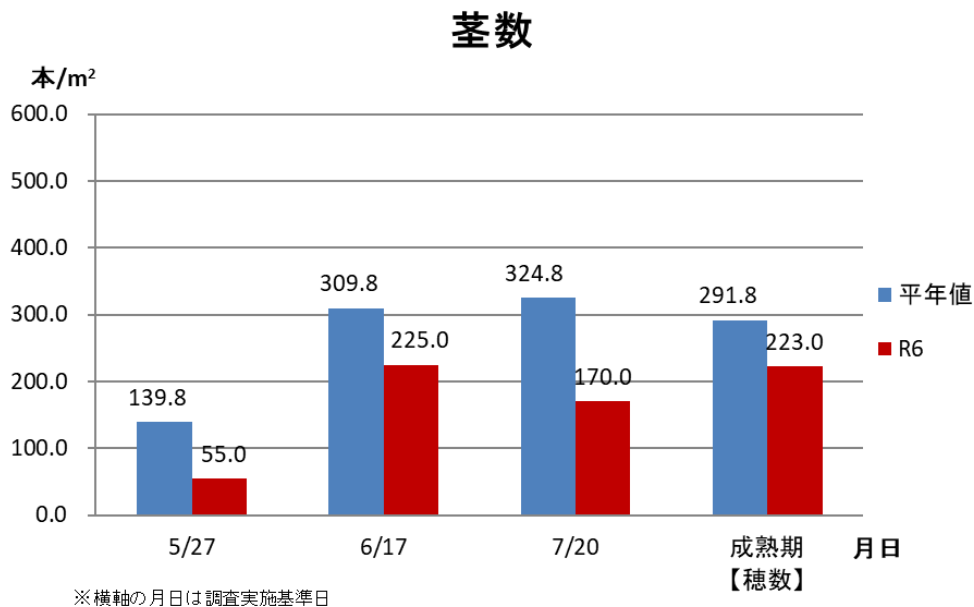
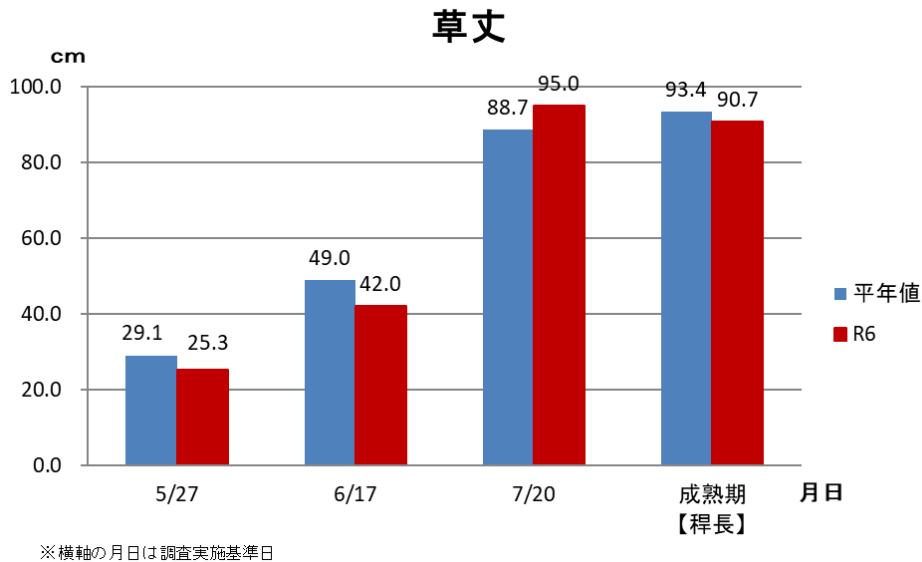
# 令和6年度 農作物（水稻）モニター事業調査結果

本県NOSA Iでは、水稻の生育状況を調査し、気象・病害虫発生状況などの基礎情報を継続的に観測して、県内水稻の作柄や被害発生状況の把握に務めています。

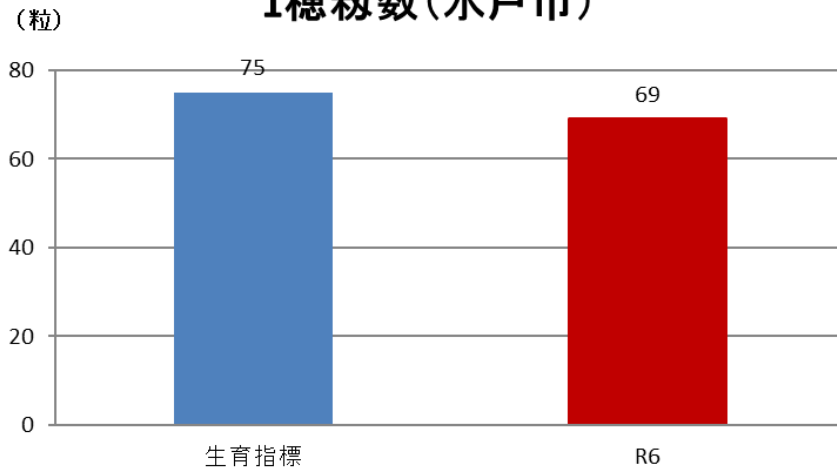
## 1. 水稻の生育および収量調査（第5回）

### 1) 水戸市の調査結果

調査場所	品種	移植日	生育調査日	収量調査日
水戸市	コシヒカリ	5月6日	9月4日	10月3日

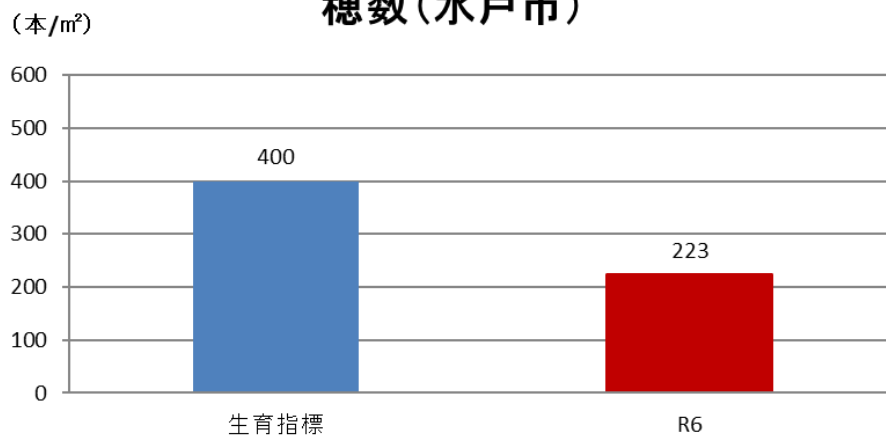


## 1穂粒数(水戸市)



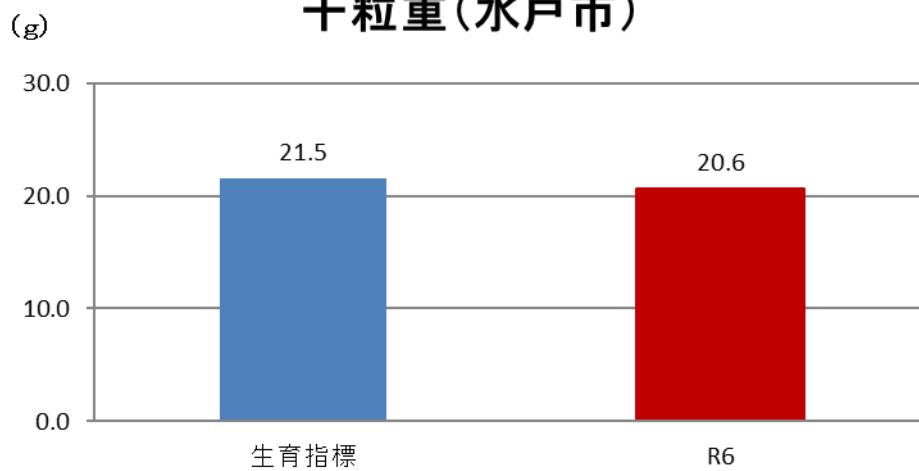
※【コシヒカリの生育指標】を用いた。

## 穂数(水戸市)



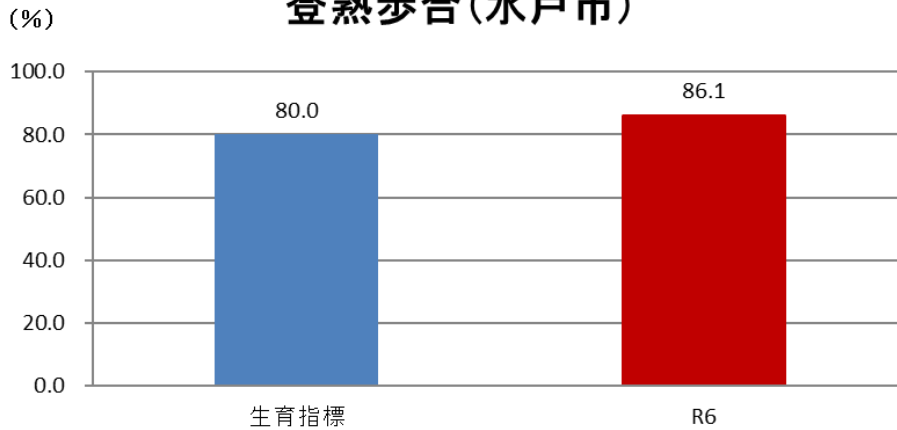
※【コシヒカリの生育指標】を用いた。

## 千粒重(水戸市)



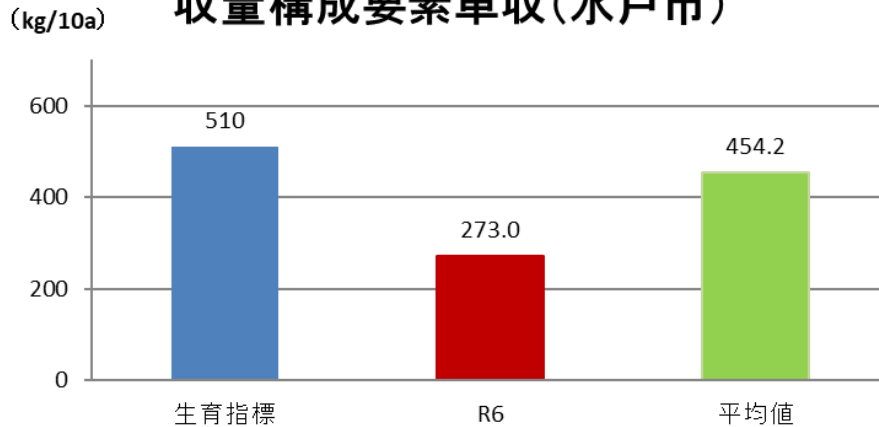
※【コシヒカリの生育指標】を用いた。

## 登熟歩合(水戸市)



※【コシヒカリの生育指標】を用いた。

## 収量構成要素単収(水戸市)



※【コシヒカリの生育指標】を用いた。

- 被害度は該当虫による葉の食害の度合い
- 平年値は令和1～令和5年の5年間の平均値

### ○生育調査結果について

#### 【生育状況：過去5カ年の平均値との比較】

草丈は、7月までは平年よりやや高く生育しましたが、最終的に稈長は平年並となりました。茎数については平年より少なく推移し、最終的な穂数は目標の㎡当たり400本に届きませんでした。葉色は概ね平年と同様に推移しました。

### ○収量調査結果について

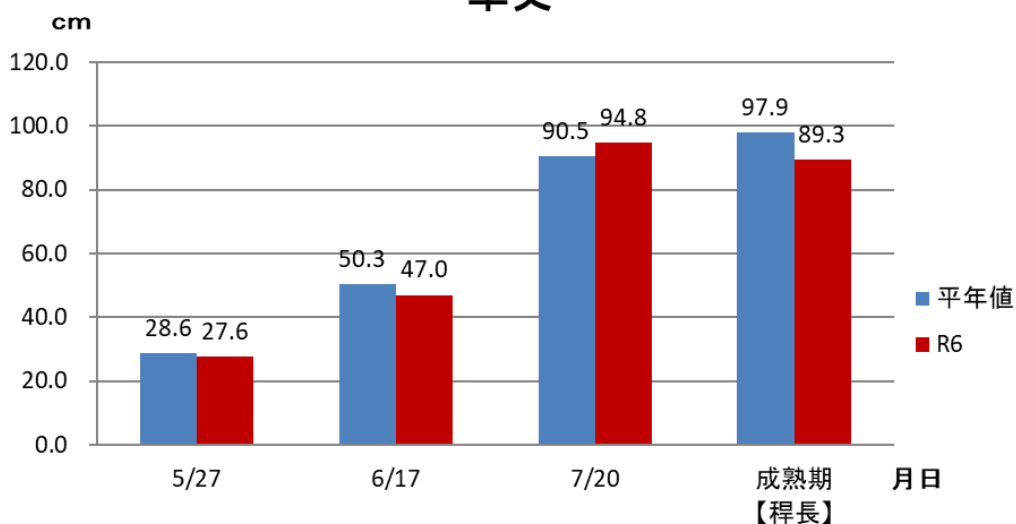
収量構成要素は、県の指標値と比べて、一穂粒数がほぼ同等、穂数が少なく、千粒重がやや軽く、登熟歩合がやや高くなりました。その結果、単収は指標値より減少しました。

特に穂数の減少が著しいので、今後の対策として、移植後に新しい葉が出始めたら、2～3cm程度の浅水管理により分けつの発生を促進し、初期生育の確保に努めるようにして下さい。

## 2) 茨城町の調査結果

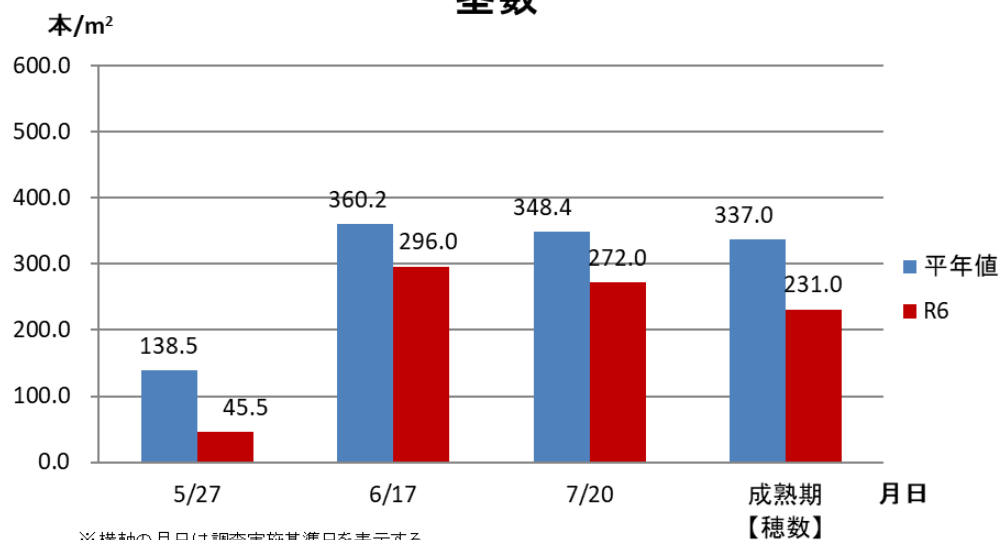
調査場所	品種	移植日	生育調査日	収量調査日
茨城町	コシヒカリ	5月11日	9月4日	10月3日

### 草丈



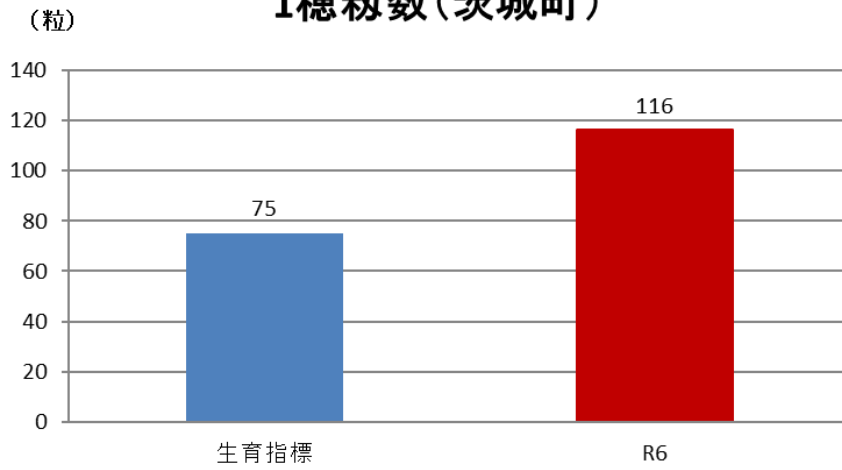
※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

### 茎数



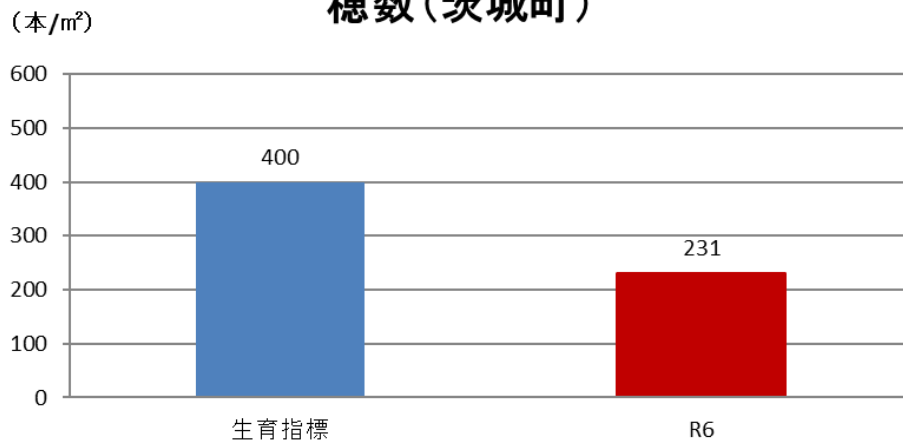
※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

## 1穂粒数(茨城町)

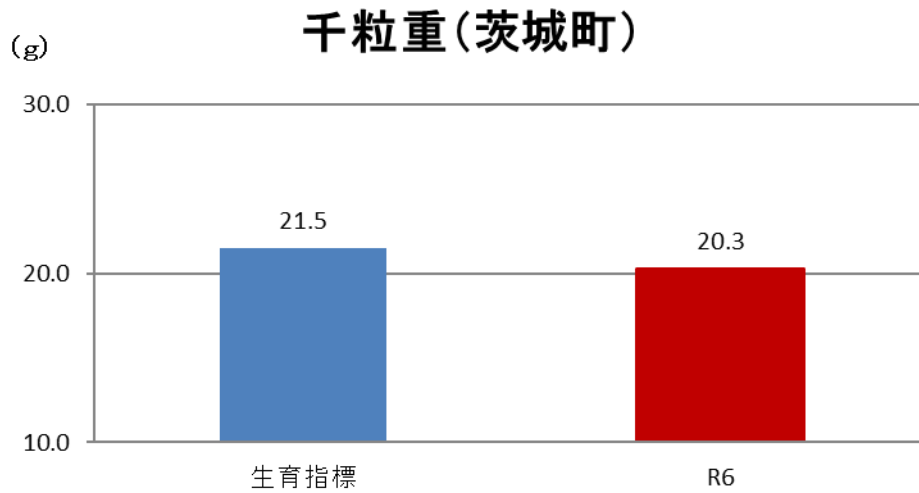


※【コシヒカリの生育指標】を用いた。

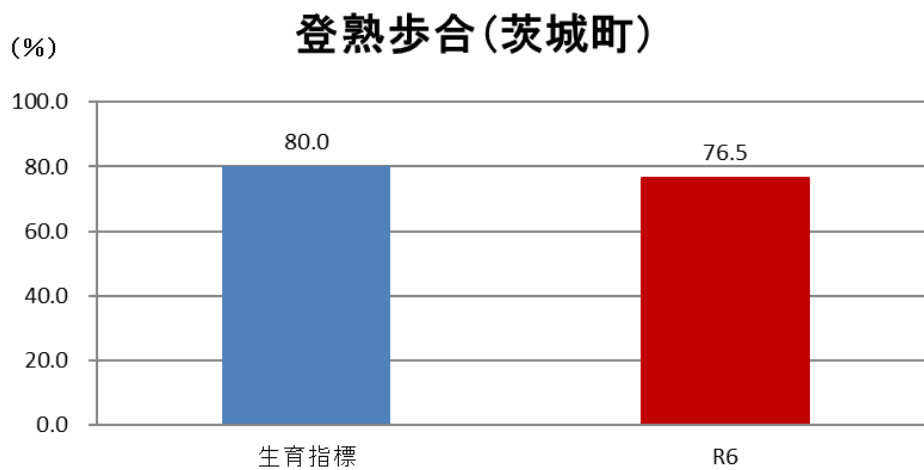
## 穂数(茨城町)



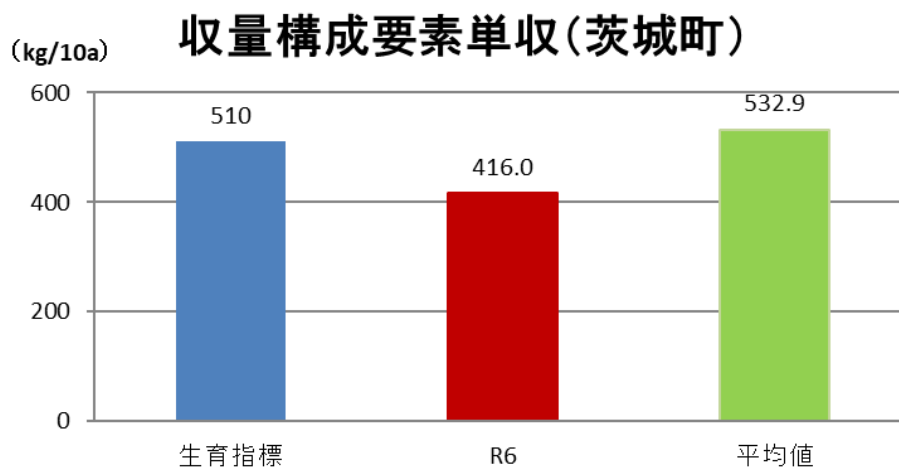
※【コシヒカリの生育指標】を用いた。



※【コシヒカリの生育指標】を用いた。



※【コシヒカリの生育指標】を用いた。



※【コシヒカリの生育指標】を用いた。

○被害度は該当虫による葉の食害の度合い

○平年値は令和1年～令和6年の5年間の平均

### ○生育調査結果について

#### 【生育状況：過去5カ年の平均値との比較】

草丈は、7月までは平年と同様に生育しましたが、最終的に稈長は平年より低くとなりました。茎数については平年より少なく推移し、最終的な穂数は目標の㎡当たり400本に届きませんでした。葉色は平年と同様に推移しました。

### ○収量調査結果について

収量構成要素は、県の指標値と比べて、一穂粒数が多く、穂数が少なく、千粒重がやや軽く、登熟歩合がやや低くなりました。その結果、単収は指標値より減少しました。

特に穂数の減少が著しいので、今後の対策として、移植後に新しい葉が出始めたら、2～3cm程度の浅水管理により分けつの発生を促進し、初期生育の確保に努めるようにして下さい。

## 2. 次回調査予定日

令和6年度の農作物(水稻)モニター事業調査は今回で終了です。来年度も引き続き調査を行い、県内水稻の作柄や被害発生状況の把握に努めてまいります。

茨城県農業共済組合連合会調べ  
協力：茨城県農業総合センター